

平成25年度

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書

平成26年8月

坂戸市教育委員会

目 次

◆ 点検及び評価の趣旨等	1
1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1
4 点検及び評価の構成	1
5 外部評価委員からの主な御意見	2
◆ 平成25年度分対象事業の点検及び評価	3
基本計画 社会教育	3
基本計画 学校教育	6
基本計画 文化の振興・保護	11
教育委員会会議等の状況	12
◆ 外部評価委員からの主な御意見	15

点検及び評価の趣旨等

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育委員会は、毎年、学識経験を有する者の知見を活用して、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

本市教育委員会は、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価を実施し、毎年その結果を報告書にまとめています。

2 点検及び評価の対象

本市では、平成21年4月の組織改正により、スポーツ（学校における体育に関するものを除く。）、青少年の健全育成（青少年教育を除く。）及び文化（文化財の保護に関するものを除く。）に関する事務が市長部局へ移管となりました。また、平成24年度から平成33年度までの10年間の計画期間である第6次坂戸市総合振興計画が策定されました。

このため、教育委員会の事務事業に係る点検及び評価について、同振興計画の「教育・文化 ～学び合い交流する人づくりのまち～」のうち、市長部局へ移管された「青少年の健全育成」の一部及び「文化の振興」の部分を除く「社会教育」、「青少年の健全育成」、「学校教育」及び「文化の振興・保護」の中で教育委員会が所管する事務事業を毎年20事業程度抽出し、点検及び評価を実施しています。今回も、平成25年度の全79の事務事業のうち新規事業及び重点的に取り組んだ事務事業の中から21事業を抽出して点検及び評価を行いました。

3 点検及び評価の方法

- (1) 点検及び評価に当たっては、平成25年度の21事務事業の評価シートを作成し、目的、実施状況、成果等について自己評価を行いました。
- (2) 点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方の知見を活用しました。

4 点検及び評価の構成

(1) 項目

第6次坂戸市総合振興計画の「教育・文化」に関する基本計画で、教育委員会の所管する基本計画を事業ごとにまとめ、主な事務事業を中心に点検及び評価を行いました。

(2) 施策の方針

基本計画の施策の方針を掲載しています。

(3) 平成25年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価等

平成25年度に実施した主な事務事業の目標、実績、自己評価等を掲載しています。

ア 達成度

平成25年度の目標に対する実績の達成率等を表示しています。ただし、指標及

び達成率の設定になじまないものについては、除いているものがあります。

イ 自己評価

次の表の各項目別の評価を表示しています。

- 必要性・・・1「高い」：2「検討の余地有」：3「低い」
(・市民ニーズに対応しているか。・行政関与の必要性はあるか。)
- 有効性・・・1「高い」：2「高める余地有」：3「低い」
(・目的とした効果はあるか。)
- 効率性・・・1「効率的である」：2「高める余地有」：3「効率的ではない」
(・コスト面・業務面等効率的に執行されているか。・民間委託や他事業の統合・連携が可能か。)
- 目標達成度・・・1「十分できている」：2「できている(一部できているを含む。)」：3「できていない」
(・当該年度の事業が計画どおりに達成できたか。)
- 方向性・・・「見直し(改善・効率化、縮小、統合、拡充)」：「継続」：「終了」：「休止」：「廃止」
- 総合評価・・・「A」：十分成果が上がっている。
「B」：成果が上がっている。
(「必要」「有効性」「効率性」で「3」がなく、目標達成度が「1」又は「2」である。)
「C」：成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
(「必要性」「有効性」「効率性」で「3」が一つ以上で、目標達成度が「2」である。)
「D」：成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要
(目標達成度が「3」である。)

5 外部評価委員からの主な御意見

平成25年度の主な取組等について、外部評価委員の方々から頂いた御意見や評価について掲載しています。

御意見を頂いた外部評価委員は、次のとおりです。

- 渡 邊 庸 久 (元毛呂山町教育委員会教育長)
- 志 賀 康 子 (坂戸市子ども会育成会連絡協議会会長)

＜平成25年度分対象事業の点検及び評価＞

基本計画 社会教育

施策の方針

1 生涯学習社会の構築

市民自ら適切な学習機会を選択し、自主的な学習ができるよう、学習情報の収集・提供及び学習相談体制の整備を図り、学習成果を生かしたまちづくりを推進します。

2 社会教育の充実

社会教育施設の整備・充実を図るとともに、学校教育との連携を強化し、学びの機会を拡充します。

3 公民館の充実

市民の学習ニーズに即した公民館事業を推進するとともに、クラブ、サークル等の支援・育成を行います。

4 図書館の充実

社会の様々な変化に伴い高度化、多様化する市民の学習要求に適切に対応するための図書館として充実を図ります。

平成25年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価等

1 生涯学習社会の構築

事業名	生涯学習によるまちづくり推進事業	所管	社会教育課			
事業内容	坂戸市職員出前講座は、職員が講師として市民団体が主催する勉強会等に出向き、市政情報等の提供を行う講座を実施しています。 さかど市民塾は、市民が講師となり、学校開放施設等を会場として講座を実施し、市民が受講者として参加しています。					
指標	25年度目標	25年度実績				
出前講座実施数	30講座	36講座				
出前講座参加者数	920人	1,389人				
市民塾講座数	25講座	20講座				
市民塾講座数	280人	251人				
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座実施数：120% ・ 出前講座参加者数：151% ・ 市民塾講座数：80% ・ 市民塾受講者数：90% 		出前講座の実施数・参加者数は、増加しています。さかど市民塾の講座数・受講者数は、若干の減少となりましたが、市民の多様な学習機会の拡大につながりました。			
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	できている	継続	A
	【評価、意見等】生涯学習によるまちづくりを推進するためには、市民の生涯学習への意欲を高めることが重要であり、これらの学習意欲に対して講座等の学習機会を提供することが必要です。坂戸市職員出前講座及びさかど市民塾は、生涯学習社会の構築に不可欠な事業であり、今後も継続する必要があります。					

2 社会教育の充実

事業名	公民館施設整備事業			所管	中央公民館	
事業内容	浅羽野公民館空調機改修工事、城山公民館空調機改修工事設計委託					
指標	25年度目標			25年度実績		
設計・監理	2件			2件		
工事	1件			1件		
指標に対する達成度	・設計・監理：100% ・工事：100%			計画どおり実施できました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
	【評価、意見等】公民館の利用者が安心安全に利用できるよう計画的に改修工事を実施し、施設の適切な維持管理を行っていきます。					

事業名	社会教育団体支援事業			所管	社会教育課	
事業内容	社会教育団体が行う社会教育関係事業への支援をしています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
補助金交付団体	5団体			5団体		
補助金交付額	1,180千円			1,180千円		
指標に対する達成度	・補助金交付団体：100% ・補助金交付額：100%			計画どおり達成できました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
	【評価、意見等】行政と社会教育団体が連携することで、家庭教育や青少年活動のより一層の向上が図られるため、今後も社会教育関係団体を支援していくことは、重要であると考えます。					

3 公民館の充実

事業名	各種教室・講座等開催事業			所管	全公民館	
事業内容	市民のニーズを把握するとともに、関係機関等と連携を図りながら、各種教室・講座等を開催しています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
教室・講座等開催数	84講座			84講座		
教室・講座等参加者数	18,440人			12,990人		
指標に対する達成度	・教室・講座等開催数：100% ・教室・講座等参加者数：70.4%			おおむね達成しています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	できている	継続	A
	【評価、意見等】市民の身近な学びの拠点として生涯学習の推進に一定の役割を果たしています。今後も時代の変化や市民ニーズに対応した事業を展開していきます。					

4 図書館の充実

事業名	図書館企画講座等開催事業				所管	図書館
事業内容	読書活動の啓発・普及を図り、市民の多様な学習機会を提供するため、読書週間記念イベント、おはなし会、企画展示、赤ちゃん絵本広場、小学校での読書教室、読書朝会、デイサービスセンターへの訪問朗読サービス、教養講座、映画鑑賞会等を実施しています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
事業参加人数	11,000人			10,410人		
指標に対する達成度	・事業参加人数：94%			おおむね達成しています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	高める余地有	できている	継続	B
評価	【評価、意見等】子どもたちへの読書啓発事業は、ボランティアの協力や各種施設との連携により、子ども読書推進計画に基づき推進できているといえますが、今後も市民の要望を踏まえた学習機会の提供などに努めていく必要があります。					

事業名	図書資料整備事業				所管	図書館
事業内容	市民の多様で高度な要望に応えられるよう、図書資料、地域資料、AV資料の収集を図るとともに、データベースによる資料提供を行います。また、子どもたちが本に親しみ、心の成長を育むよう児童書の整備を強化しています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
人口一人当たりの貸出冊点数	5.5冊点			4.63冊点		
指標に対する達成度	・人口一人当たりの貸出冊点数：84.2%			おおむね達成しています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	高める余地有	できている	継続	B
評価	【評価、意見等】利用者の要望及び市政の重点目標を踏まえて、計画的に整備を行い、目標達成に向けて今後も継続して実施していく必要があります。					

基本計画 学校教育

施策の方針

- 1 教育内容の充実
「確かな学力」、「健康・体力」、「豊かな人間性」を基盤とする「生きる力」を育む教育を充実します。
- 2 教育環境の整備
安心して学習し、学校生活が送れるよう、より良い教育環境の整備をします。
- 3 教育の機会均等の確保
教育の機会均等及び有能な人材の育成等に寄与するため、幼稚園、小中学校、高等学校、大学及び専修学校への入学又は就学に係る費用等を必要に応じて保護者に援助します。

平成25年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価等

1 教育内容の充実

事業名	クラブサポーターティングスタッフ派遣事業				所管	学校教育課
事業内容	部活動の専門的な技術指導を行うため、指導を必要とする中学校で、クラブサポーターティングスタッフが年間60日以内の期間で指導します。					
指標	25年度目標			25年度実績		
派遣人数	30人			30人		
指標に対する達成度	・派遣人数：100%			必要とする部活動におおむね派遣できました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】生徒が豊かな学校生活を送るため、部活動の重要性と学校の指導体制の現状を考えると、この事業を継続・充実させることが必要と考えます。					

事業名	不登校解消事業				所管	学校教育課（教育センター）
事業内容	いじめ・不登校対策委員会を開催し、不登校解消に向けた研究等に取り組んでいます。また、適応指導教室において不登校児童生徒の自立と集団への適応を援助しています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
不登校対策委員会開催回数	5回			5回		
指標に対する達成度	・不登校対策委員会開催回数：100%			計画どおり開催することができました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	高める余地有	十分できている	継続	B
評価	【評価、意見等】不登校児童生徒の解消は、本市における重要な課題であります。今後不登校児童生徒解消に向けた組織的な対応を図るため、不登校対策委員会やさわやか相談員等による支援体制の更なる整備充実は、是非とも必要であると考えます。					

事業名	学校給食調理業務委託事業				所管	教育総務課
事業内容	正規給食調理員の退職者不補充により、正規給食調理員の配置ができない学校について、順次民間委託に切り替えることにより、行政運営の効率化を図っています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
民間委託実施校	14校			14校		
指標に対する達成度	・民間委託実施校：100% ※実施率：70%（14/20校）			委託計画どおり民間委託を実施できています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】今後も、正規給食調理員の退職に伴い、正規給食調理員が配置できない学校については、民間委託に切り替えて行く必要があります。					

事業名	学校給食システム運用事業				所管	教育総務課
事業内容	給食システムを使用し、献立の作成、栄養価の計算、学校別使用量の計算、物資発注書、月報の作成等を行うことにより、給食情報の集中管理及び各種処理を効率的に行っています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
献立作成件数	190件			190件		
給食提供回数	190回			190回		
指標に対する達成度	・献立作成件数：100% ・給食提供回数：100%			目標どおり実施することができました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】引き続き給食システムを使用し、献立の作成や栄養価計算等の処理を効率的に行う必要があると考えます。					

事業名	英語指導推進事業				所管	学校教育課（教育センター）
事業内容	<p>〈ALT（英語指導助手）〉市内の各小・中学校にALTを派遣し、日本人英語教師とTT（ティーム・ティーチング）による英語を通じてのコミュニケーション能力の育成及び指導を行います。また、小学校へは教育課程に位置付けられた外国語活動に対応するために派遣し、幼稚園へは月に1回ALTを派遣し、英語活動を行います。</p> <p>〈外国語活動支援員〉小学校における外国語活動の授業に対応し、小学校外国語活動を推進しています。</p>					
指標	25年度目標			25年度実績		
ALT派遣回数	1,110回			1,084回		
外国語活動支援員勤務日数	600日			600日		
指標に対する達成度	・派遣回数：98% ・支援員勤務日数：100%			おおむね達成しています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】国際理解教育と英語教育充実のために必要な事業であると考えています。					

事業名	子ども議会運営事業			所管	学校教育課	
事業内容	各小学校から選出された児童が模擬議会を体験し、議会運営の仕組みを学んだり、子どもたちの目線で見た問題に対し、発表を通して市への提案を行うなど市政や自治に関心を持ってもらうことを目指します。					
指標	25年度目標			25年度実績		
参加人数	26人			26人		
指標に対する達成度	・参加人数：100%			小学校1校につき2名、計26名の参加があり、達成できました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	高める余地有	十分できている	継続	B
【評価、意見等】開催目的に基づいて、今後も実施していきたいと考えます。						

事業名	学校応援団推進事業（小学校・中学校）			所管	学校教育課	
事業内容	各小中学校で地域住民や保護者等で学校応援団を組織しており、今後も、学校・家庭・地域での連携を密にし、様々な体験・交流・学習活動などを通じて子供たちの社会性・自主性・創造性の向上を目指し、また、教育支援活動の充実も図ります。					
指標	25年度目標			25年度実績		
活動回数	4,077回			4,108回		
指標に対する達成度	・活動回数：100,7%			必要とする教育支援活動がほぼできました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
【評価、意見等】学校・家庭・地域での連携を密にし、様々な体験・交流・学習活動などを通じて子どもたちの社会性・自主性・創造性を高め、学校の活性化や地域社会の教育力の向上を図ることは有意義なことです。この事業を継続・充実させることは必要と考えます。						

事業名	スチューデント・インターンシップ事業			所管	学校教育課	
事業内容	大学生を小中学校に派遣し、児童生徒に対し学習指導や生活指導の補助、部活動の指導の補助を行います。					
指標	25年度目標			25年度実績		
配置学生数	100人			114人		
指標に対する達成度	・配置学生数：114%			達成できています。実習を通して教育現場を知ること、考えが変わる学生もいました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
【評価、意見等】個に応じた指導により学習内容が理解できたり、学校が楽しくなったりした児童生徒が増えていますので、引き続き大学生を小中学校に派遣していきます。						

2 教育環境の整備

事業名	公立小中学校統合推進事業				所管	学校教育課
事業内容	小規模化が進んでいる北坂戸小学校と泉小学校を統合し、適正規模にするため、学区審議会を開催し、北坂戸小学校及び泉小学校の通学区域を同一にすることを進めます。					
指標	25年度目標			25年度実績		
学区審議会の開催	5回			3回		
指標に対する達成度	・学区審議会の開催：60%			開催回数は3回ですが、通学区域を同一にすることは妥当であるとの答申を得ました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	検討の余地有	高い	効率的である	できている	継続	B
評価	【評価、意見等】北坂戸小学校及び泉小学校の統合に向けて、地元や保護者の理解が得られるよう進めていくとともに、新校舎の選定等、統合に向けた具体的な取組をしています。					

事業名	学校施設地震防災対策事業				所管	教育総務課
事業内容	児童生徒が安心して学校生活が送れるように、学校教育施設の耐震化を図ります。					
指標	25年度目標			25年度実績		
耐震化棟数	8棟			8棟		
指標に対する達成度	・耐震化棟数（平成25年度分）：100% ※耐震化率：90.14%			年次計画に基づき、構造体の耐震化の目標は、平成27年度の完了としていましたが、前倒しにより平成26年度の完了に向けて計画的に実施できています。非構造部の耐震化についても早期完了に向けて着実に実施しています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】従来から実施してきた構造部の耐震補強に加え、非構造部の耐震化についても着実に実施できています。					

事業名	学校施設整備事業				所管	教育総務課
事業内容	学校施設建築後の年数経過により、著しい機能低下がみられる学校施設の修繕及び改修工事を実施します。					
指標	25年度目標			25年度実績		
施設改修工事等	23件			23件		
指標に対する達成度	・施設改修工事等：100%			平成25年度は計画どおり実施できました。しかし、危険性及び緊急性のある施設を優先に実施していますが、全体的には十分には進んでいません。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的ではない	十分できている	継続	C
評価	【評価、意見等】実施計画に危険性及び緊急性のあるものを順位付けして計上しています。全体的には十分ではありませんので、施設管理上、早急に必要な実施があると考えます。					

事業名	児童生徒用机椅子整備事業				所管	学校教育課
事業内容	工業標準化法の改正により、日本工業規格が改正されたため、新JIS規格への切替えを行います。4年計画で全校の机及び椅子を整備します。					
指標	25年度目標			25年度実績		
購入学年数	2学年分			2学年分		
指標に対する達成度	・購入学年数：100%			予定どおり購入できました。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	高める余地有	十分できている	継続	B
評価	【評価、意見等】平成27年度中に、市内全小中学校の整備が完了します。					

事業名	学校空調機整備事業				所管	教育総務課
事業内容	地球温暖化やヒートアイランド現象などによる夏季の教室環境の悪化を解消し、児童生徒が安全・快適に学校生活を送れるよう学校施設の改修を図ります。					
指標	25年度目標			25年度実績		
普通教室エアコン設置校						
指標に対する達成度				20校のうち、統合や耐震補強工事等の特殊事情でエアコンを設置できない4校を除く16校の普通教室にエアコンを設置する計画ですが、平成26年9月1日稼働を目途に整備を進めている状況です。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】工事による設置からリースによる設置へ方向転換をしたことから平成26年度に普通教室にエアコンを設置できる見通しとなりました。また、未設置の学校についても課題が解決され次第、エアコンの設置を実施していきたいと考えています。					

基本計画 文化の振興・保護

施策の方針

(社会教育課関係)

1 文化財の保護

文化財の調査・保存に努め、活用と市民への公開を促進するとともに、郷土に培われた歴史を継承し、及び保護します。

平成25年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価等

1 文化財の保護

事業名	埋蔵文化財調査事業			所管	社会教育課	
事業内容	埋蔵文化財は、坂戸市民共有の財産であり、開発等によって失われないよう記録保存し、後世に引き継ぐため、発掘調査を行っています。					
指標	25年度目標			25年度実績		
発掘調査件数	開発等の件数によるため設定しない。			試掘 67件 発掘 16件		
指標に対する達成度				参考 ・前年度実績 試掘 56件、発掘 17件 ・前年度比 試掘：119%、発掘：94%		
自己評価				必要性	有効性	効率性
	高い	高い	高める余地有	できている	継続	B
評価	【評価、意見等】失われていく遺構等を記録保存するため、欠くことのできない事業です。					

事業名	指定文化財保護事業			所管	社会教育課	
事業内容	有形文化財、無形民俗文化財、天然記念物等は、大切に守り伝えなければならない市民共有の財産です。補助金を有効に活用することで、地域の保護活動を推進します。					
指標	25年度目標			25年度実績		
補助金交付団体	26団体			26団体		
補助金交付額	60万円			60万円		
指標に対する達成度	・補助金交付団体：100% ・補助金交付額：100%			文化財保存活動費の一部として、有効に活用され、効果を上げています。		
自己評価	必要性	有効性	効率性	目標達成度	方向性	総合評価
	高い	高い	効率的である	十分できている	継続	A
評価	【評価、意見等】文化財の保存意識を高め、後継者養成等についても積極的な活動が進められているため、有効性は高いと考えています。					

教育委員会会議等の状況

1 教育委員会会議の開催状況

- ・議案数 51件
- ・選挙（委員長） 1件

開催日	内 容
平成25年5月14日	平成25年度一般会計教育費補正予算について
	坂戸市立小・中学校学区審議会条例の一部を改正する条例の制定について
	坂戸市教育委員会外部評価委員の委嘱について
平成25年5月25日	市長等の給与の臨時特例に関する条例の制定について
平成25年6月19日	坂戸市社会教育委員の委嘱について
	坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について
	坂戸市公民館運営審議会委員の委嘱について
	坂戸市立図書館協議会委員の辞職について
	坂戸市立図書館協議会委員の委嘱について
平成25年7月30日	坂戸市子ども読書活動推進計画推進協議会委員の委嘱について
平成25年8月12日	平成24年度一般会計教育費決算について
	平成25年度一般会計教育費補正予算について
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	坂戸市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について
	平成24年度教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について
平成25年9月27日	坂戸市教育委員会委員長選挙について
	坂戸市教育委員会職員の任免について
	平成26年度当初坂戸市立小・中学校教職員人事異動の方針について
平成25年10月29日	坂戸市立小・中学校学区審議会委員の委嘱について
平成25年10月31日	坂戸市教育委員会職員の解任について
平成25年11月19日	平成25年度一般会計教育費補正予算について
	坂戸市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について
	坂戸市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	坂戸市立学習等供用施設の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則の制定について

	坂戸市教育委員会職員の任命について
平成26年1月21日	坂戸市立小・中学校学区審議会への諮問について
	坂戸市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する協議について
	坂戸市立小・中学校学区審議会委員の辞職について
	坂戸市立小・中学校学区審議会委員の委嘱について
平成26年2月10日	平成25年度一般会計教育費補正予算について
	平成26年度一般会計教育費当初予算について
	坂戸市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について
	坂戸市社会教育委員会議規則の一部を改正する規則の制定について
	坂戸市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について
	坂戸市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について
	坂戸市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令について
	坂戸市スポーツ推進計画（素案）について
平成26年2月20日	坂戸市立公民館長（非常勤）の辞職について
	坂戸市教育委員会職員の解任について
	平成26年度当初坂戸市立小・中学校校長の人事について
	坂戸市立小・中学校学区審議会臨時委員の委嘱について
平成26年3月28日	平成26年度坂戸市教育行政重点施策を定める件について
	坂戸市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	※ 坂戸市教育委員会事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について
	坂戸市教育委員会職員の任免について
	坂戸市立教育センター所長（非常勤）の委嘱について
	坂戸市立小・中学校学校耳鼻科医等の辞職について
	坂戸市立小・中学校学校耳鼻科医等の委嘱について
	坂戸市社会教育指導員の委嘱について
	坂戸市文化財保護審議会委員の委嘱について
	坂戸市指定史跡の指定解除について
	坂戸市教育委員会事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について（※印のものとは、内容及び公布の日が異なる。）

2 教育委員会協議会の開催状況

・協議事項及び報告事項

開催日	内 容
平成25年4月24日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成25年度当初の園児数、児童数、生徒数学級数及び小・中学校特別支援学級配置状況について
	平成25年度さわやか相談員等の配置について ほか
平成25年5月14日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	小中学校の運動会、体育祭について
平成25年6月19日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	第八採択地区教科用図書採択協議会要項（案）について
	第17回坂戸市埋蔵文化財出土品展の結果について ほか
平成25年7月30日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	子ども議会について ほか
平成25年8月12日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成26年度当初予算に関する実施計画書について
	地区市民体育祭について
平成25年9月27日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	第八採択地区教科用図書採択協議会要項（案）の確認について
	公民館文化祭について
	9月議会一般質問・答弁について
平成25年10月29日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	公民館の地域交流センター化に伴う住民説明会の開催結果と今後の進め方（案）について
	市民体育祭の結果について ほか
平成25年11月19日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	市長の権限に属する事務の一部を坂戸市教育委員会に委任する規則の一部を改正する規則の制定について
	平成26年度坂戸市立末広幼稚園園児（4歳児）募集結果について ほか
平成25年12月24日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	坂戸市立小学校の通学区域の見直しについて
	12月議会一般質問・答弁について
平成26年1月21日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	坂戸市スポーツ推進計画（素案）について ほか

平成26年2月10日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	坂戸市立小・中学校学区審議会について
平成26年2月20日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	坂戸市教育委員会重点施策（平成26年度版）について
	平成25年度坂戸市立幼稚園卒園式、小・中学校卒業式の日程について ほか
平成26年3月28日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成26年度坂戸市立小・中学校入学式の日程について
	坂戸市立北坂戸小学校及び泉小学校の通学区域を同一にすることについて ほか

3 構成員として会議、視察研修等に参加した各種連合会、協議会等

- ・ 埼玉県都市教育長協議会
- ・ 埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・ 埼玉県市町村教育委員会連合会
- ・ 埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・ 西部教育事務所管内市町村教育委員会教育長会議
- ・ 入間地区教育委員会連合会
- ・ 入間北部教育委員会連絡協議会
- ・ 入間・比企地区合同教育委員研修会
- ・ 小学校教育課程地区研究協議会

4 教育委員出席の主な行事等

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・ 坂戸市議会（教育長及び委員長） | ・ 年度初め式及び辞令交付式 |
| ・ 学校指導訪問 | ・ 小中学校入学式 |
| ・ 小学校運動会 | ・ 中学校体育祭 |
| ・ 中学校文化祭 | ・ 公民館文化祭 |
| ・ 地区体育祭 | ・ 成人式 |
| ・ 小中学校卒業式 | |

<外部評価委員からの主な御意見>

1 「社会教育」の関連事業に対する御意見

① 生涯学習によるまちづくり推進事業

- ・ 市職員による出前講座の受講生は、小学生から高齢者まで多岐にわたっており、市民との協働のまちづくりの推進に大いに役立っています。さかど市民塾は、受講者の平均年齢も上がり講座数、受講者数ともに年々減少してきています。シニアでも比較的若い人たち及びその年齢層の求める魅力ある講座の提供が望まれます。
- ・ 講師が市の職員や市民のマンパワーによることで、事業費も少額となり、理想的であると思います。今後も、広報への掲載を更に充実させて発展していくこ

とを望みます。

② 公民館施設整備事業

- ・地域の拠点である公民館の利用者が安心安全に利用できるように、計画的に施設の改修工事を実施し、適切に維持管理を行うことは必要です。

③ 社会教育団体支援事業

- ・青少年の健全育成のために、社会教育団体が行う社会教育関係事業への支援は必要です。

④ 各種教室・講座等開催事業

- ・各公民館共に非常にたくさんの講座を計画し、成果を上げていることに敬意を表します。更に多くの方々の意見を聴きながら実施に努め、その目的達成のために努めていくことを望みます。
- ・マナー化を改善しつつ若い世代のニーズにも着目されていると思います。また、各公民館の非常勤職員の活躍が期待されています。

⑤ 図書館企画講座等開催事業

- ・読書離れが著しい中で、読書活動が更に前進するよう学校、学校関係団体、市民等の意見を吸い上げ、魅力ある図書館活動（事業）の推進を望みます。
- ・ボランティアの人材育成に努め、更に事業の発展につながるよう希望します。

⑥ 図書資料整備事業

- ・読書離れが著しい昨今、小・中学生の読書活動の支援を更に充実してほしい。

2 「学校教育」の関連事業に対する御意見

① クラブサポータースタッフ派遣事業

- ・部活動の指導者として、経験豊富な外部指導者を配置することは、有効であると考えます。

② 不登校解消事業

- ・不登校児童・生徒数が皆無となるよう、不登校児童生徒への指導援助、教員の資質向上、保護者への啓発、相談活動等更に工夫し、充実させていただきたい。

③ 学校給食調理業務委託事業

- ・調理業務を民間委託することは、コスト面において効果があるとともに、単独調理方式のため、安全で作りたての温かい給食が食べられますので、職員、保護者、子どもたちの評価が高く、効果的であると考えます。

④ 学校給食システム運用事業

- ・給食システムを使用し、献立作業や栄養価計算等を効率的に処理することは有効であると考えます。

⑤ 英語指導推進事業

- ・中学生の意見では、年ごとにALTが変わり、年度初めは戸惑いがあるようです。ALTも生徒もコミュニケーションづくりは大変であり、英語指導はもとより文化の違いを認識するために費やす時間が必要であるようです。互いの文化を知ることもALTの意味であると思います。
- ・ALTが学校訪問する時間は少ないので、英語能力を高めるまでの効果はないのではと思われます。ALTに対する時間数を増やすことを望みます。また、

他市の例のようにBGM等を活用して英語に親しむ工夫をしてはどうでしょうか。

⑥ 子ども議会運営事業

- ・ 市政や地方自治に関心を持ち、議会運営の仕組みを学ぶためには良い機会と考えます。市への要求の場とならないよう指導や配慮が望まれます。
- ・ 初回ということもあり、改善点は多くみられるようですが、次回に向けて改善の検討をしていくことを望みます。また、児童の率直な意見を引き出せるよう学校側の配慮をお願いします。

⑦ 学校応援団推進事業（小学校・中学校）

- ・ 地域の住民、保護者等で組織する学校応援団は、子どもたちの体験、交流、学習活動等を通じて、子どもたちの社会性、自主性、創造性等を向上させる上で有効です。

⑧ スチューデント・インターンシップ事業

- ・ 児童生徒と年齢的に近い大学生が子どもたちの学習指導、生活指導及び部活動の指導の補助を行うことは、子どもたちはもとより大学生にとっても有意義と思われれます。

⑨ 公立小中学校統合推進事業

- ・ 旧泉中学校・北坂戸中学校の統合は、非常に効果的な統合であると思料されます。学校を統合し、適正規模に再編することは、学業面、部活動等を活性化するとともに、施設管理も効果的であります。統合は、民意を尊重し、丁寧に進めることが肝要と考えます。

⑩ 学校地震防災対策事業

- ・ 学校施設の耐震化が計画的に進められ、平成26年度完了予定であり大変良いです。非構造部の耐震化についても是非着実に進めていくことを望みます。

⑪ 学校施設整備事業

- ・ 施設が老朽化して雨漏り、各種設備の不良があるにもかかわらず、財政事情から必要な整備や改修がなおざりになっている状況が伺えます。子どもたちの安全安心確保の上からも、是非計画的に早急に対応することを望みます。

⑫ 児童生徒用机椅子整備事業

- ・ 法令に基づき子どもたちの体型に合わせた机、椅子を整備することは、子どもたちの健康安全、健やかな成長のためには必要です。計画年度内に整備が完了することを望みます。

⑬ 学校空調機整備事業

- ・ エアコンを整備することは、児童生徒の健康を守り、快適な学習環境を維持する上からも必須であります。是非、計画どおり早い時期に市内全校に設置されることを望みます。

3 「文化の振興・保護」の関連事業に対する御意見

① 埋蔵文化財調査事業

- ・ 埋蔵文化財調査は、地域の歴史や生活文化を後世に伝える上で重要です。是非、報告書の刊行に遺漏がないよう取り組むことを望みます。

② 指定文化財保護事業

- ・ 地域の文化財は、地域で守るという意識と活動が広がりつつあることは大変良いです。無形民俗文化財の後継者養成事業を含め、是非活動が深まっていくことを望みます。